

すべての子どもたちをみんなで支えあおう

～未来のある昭島の子どもたちに関わるすべてのみなさんへ～

子どもたちがどのような環境にあっても、個人が尊重され
健やかに安心して暮らせることが市民すべての願いです。

「今の子どもたちを取り巻く環境を知っていますか？」

○ コロナ禍の収束後も続く不安定な社会情勢が影響した将来への不安

コロナ禍が収束してもなお、子どもたちを取り巻く生活環境は大きく変化し続けています。将来への不安を感じ、児童生徒の自殺者数は過去最多の水準が続いています。

○ 高度情報化社会がますます加速化し、デジタル時代の学びが本格化

学校では、1人1台タブレット端末による教育が導入され、子どもたちの情報活用能力や情報モラル教育が前進した一方で、ネットによるいじめや犯罪、薬物等の有害情報の安易な取得、スマホ所持の低年齢化や過度な依存の問題も増えています。

○ 不安定な家庭状況や孤立する子育てで追い詰められる家庭が陥る困難の連鎖

労働環境の悪化、ワンオペ育児、ヤングケアラー、虐待など、精神的、経済的に課題を抱え安らぎの場として機能することが難しい家庭も見受けられます。また、周囲に相談できず、支援の存在を知らずに困難に陥ってしまうケースもあります。

○ まanusus求められる、多様な子どもたちへの理解と支援

特別な配慮や支援を必要とする子どもたちが増える一方、周囲の理解・啓発が十分とはいえない状況です。また、自信がなく、自分を大切に思うことができず、不安やいらだちを感じている子どもが全般的に見られ、不登校児童生徒は増加し続けています。

○ 重要性を増す地域の役割

家庭と子どもを支える地域の役割が重要となる一方、都市化や価値観の多様化に伴い人間関係が希薄になっています。また、地域活動の担い手の高齢化による活動中止等、子どもたちが様々な体験活動を通して社会性を学び、自分の得意を伸ばす機会が減っています。

基本方針

子どもたちの健やかな成長には
「安心できる」「学べる」「輝ける」居場所が必要です



3つの居場所づくりのために、家庭・学校・地域で
一人一人できることから始めましょう！

重点活動項目

☆十分な睡眠と食事をとろう
☆あいさつをしよう
☆誰かに話そう 相談しよう 受け止めよう
☆つくろう まもろう ネットのルール

安心できる

心と体の健康を守る場

学べる

互いの違いを大切に
生き抜く力を身につける場

☆将来につながる
生き抜く力を身につけよう
☆わくわく楽しい学びを
応援しよう
☆関わり合おう 認め合おう
☆社会のルールやマナーの
手本を示そう

輝ける

多様な良さや成長を認め
自己有用感を高められる場

☆良さを見つけよう
ほめよう 伸ばそう
☆「ありがとう」「うれしい」
「たすかります」
地域みんなで支え合おう
☆地域の自然や文化・行事を
大切にしよう

青少年問題協議会では

家庭や子育ての総合的支援・調整のため、それぞれに期待される役割と機能を的確に把握し、情報の収集・提供、啓発活動に努めます。また、行政サービスの充実、経済的支援、相談体制の拡充など、積極的に関係各機関へ働きかけ、総合的な支援に努めます。